

# 地熱資源量の把握のための調査事業費補助金

平成30年度予算額 **90.0億円 (90.0億円)**

## 事業の内容

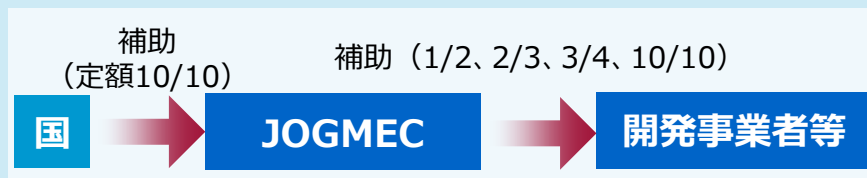
### 事業目的・概要

- 地熱発電は、自然条件によらず安定的な発電が可能なベースロード電源の一つであり、我が国は世界第3位の資源量（2,347万kW）を有していることから、その導入拡大が期待されています。
- その一方で、地熱資源が地下2,000メートル程度の地下深部に存在するところ、地質情報が限られていることから、掘削成功率が低いなどの事業リスクがあります。
- このため、本事業では、事業者が実施する地熱資源量の把握に向けた地表調査や掘削調査など、開発難度が高い初期調査に対する支援を行います。また、新規の有望地点を開拓するための広域ポテンシャル調査を行うことにより、地熱発電の更なる導入拡大を図ります。

### 成果目標

- 本事業を通じ、地質構造の把握によって、地表調査から掘削調査に移行した件数と、調査段階から探査・開発段階に移行した件数を、採択件数の6割程度とすることを目指します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

### 1. 地表調査 <補助率：3/4>

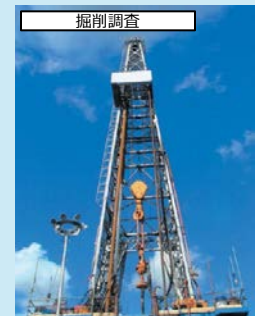
有望な地熱開発地点において、地熱資源量の把握に向けた地表調査（地上で機器を使用した計測等の手法）について支援を行います。



### 2. 掘削調査 <補助率：1/2、2/3、3/4>

地下の地熱資源の状況を把握するための掘削調査について支援を行います。

- ① 重点開発地点 <補助率：3/4>  
(2.5万kW以上の大規模開発が見込まれるもの、地質情報が明らかでなく開発リスクが高い地点等)
  - ② ①以外の2.5万kW以上の大規模開発地点 <補助率：2/3>
  - ③ 2.5万kW未満の開発地点 <補助率：1/2>
- (※) 地方自治体等が行う調査については①～③とも補助率3/4



### 3. モニタリング調査等 <補助率：10/10>

地熱資源開発に備え、温泉の流量・成分等のモニタリング等について支援を行います。

### 4. 広域ポテンシャル調査 <補助率：定額>

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）が実施する空中物理探査（ヘリコプターを用いて行う探査手法）及びヒートホール掘削（地下の温度構造を把握する調査手法）について支援を行います。

